

ケアプランデータ連携システム実践報告

社会福祉法人 山都町社会福祉協議会
ケアセンターやまと

事業所概要



施設名	ケアセンターやまと
施設種別	居宅介護支援
開設日	2005年2月11日
所在地	〒861-3811 熊本県上益城郡山都町大平91番地

今回取り組んだ職員

ケアマネジャー 4名

ケアプランデータ連携システム導入前の状況

各種書類業務についての課題感

遠方まで書類を持っていったり、書類の印刷をするのに時間がかかるため

時間を作るのが大変

ありたい姿

うまく時間が削減できれば、**ケアプラン作成**

などに時間を当てていきたい

取組成果 「ケアプランデータ連携システムによる業務時間の変化」

ケアプランデータ連携システムを**未使用**

提供表の交付にかかる時間

205分

実績表の受領にかかる時間

510分

合計 715分

ケアプランデータ連携システムを**使用**

提供表の交付にかかる時間

125分

実績表の受領にかかる時間

270分

合計 395分

約44.8%
短縮

320分の削減

取組成果 「ケアプランデータ連携システムによる業務時間の変化」

「提供表」の交付（居宅→事業所）に関する業務内容

ケアプランデータ連携システムを**未使用**

工程	手段	業務工程 (アナログ)	所要時間 (分)
前工程		提供表の印刷	55
		印刷した提供表の仕分け	20
書類交付	持参	対象事業所への移動	125
		提供表を手渡し	
	FAX	表紙作り	5
		提供表をFAXで送信	
合計時間			205

ケアプランデータ連携システム（アナログも併用）を**使用**

工程	手段	業務工程 (アナログ)	所要時間 (分)
前工程		提供表の印刷	45
		印刷した提供表の仕分け	15
書類交付	持参	対象事業所への移動	50
		提供表を手渡し	
	FAX	表紙作り	5
		提供表をFAXで送信	
合計時間			115

工程	手段	業務工程 (データ連携)	所要時間 (分)
前工程		介護ソフトにて送信用データ (CSV) 作成	10
書類交付	連携システム	ケアプランデータ連携システムにて一括送信	
合計時間			10

このアナログ作業をデータ連携に移行するとさらなる時間削減が見込める

対象事業所数 : 30

対象事業所数 : 25

対象事業所数 : 5

ケアプランデータ連携システムの使用前後で **約80分間削減**
 すべてケアプランデータ連携システムに移行できれば **4 工程削減**

取組成果 「ケアプランデータ連携システムによる業務時間の変化」

「実績表」の受領（事業所→居宅）に関する業務内容

ケアプランデータ連携システムを**未使用**

工程	手段	業務工程 (アナログ)	所要時間 (分)
書類受領	持参	手渡しでの受領	30
	FAX	FAXでの受領	20
後工程		実績表の仕分け	25
		実績表の確認	145
		実績表の入力	290
合計時間			510

ケアプランデータ連携システム（アナログも併用）を**使用**

工程	手段	業務工程 (アナログ)	所要時間 (分)
書類受領	持参	手渡しでの受領	15
	FAX	FAXでの受領	20
後工程		実績表の仕分け	25
		実績表の確認	85
		実績表の入力	110
合計時間			255

工程	手段	業務工程 (データ連携)	所要時間 (分)
書類受領	連携システム	ケアプランデータ連携システムにて受領	15
後工程		介護ソフトに受信用データ (CSV) を取込	
合計時間			15

このアナログ作業をデータ連携に移行するとさらなる時間削減が見込める

対象事業所数 : 30

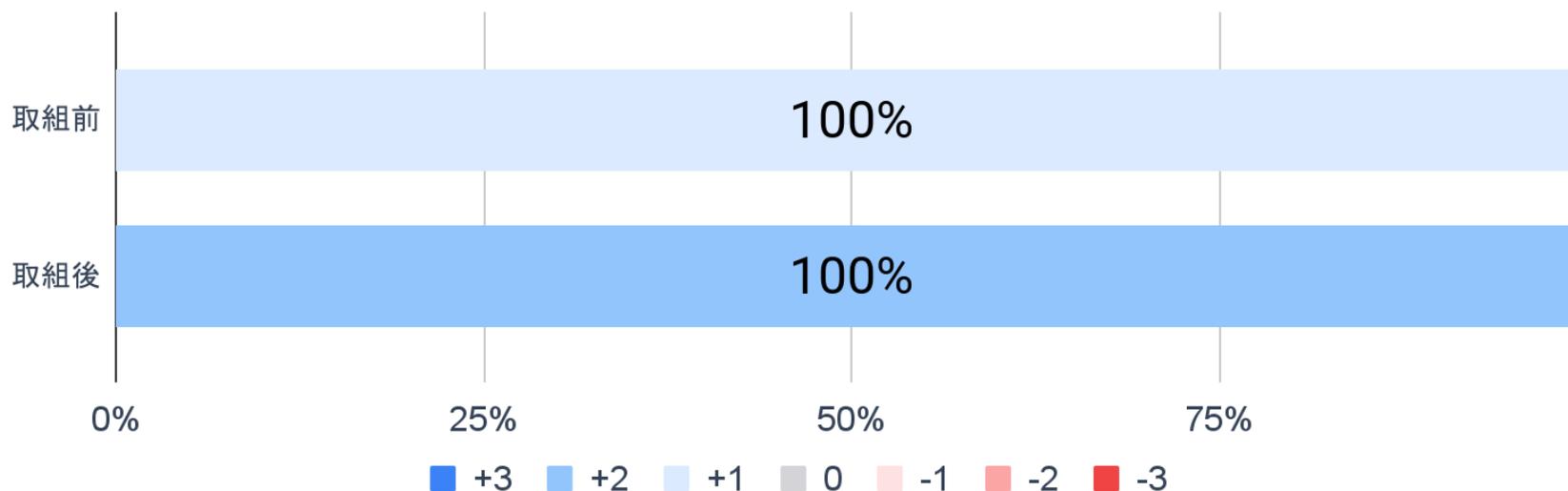
対象事業所数 : 25

対象事業所数 : 5

ケアプランデータ連携システムの使用前後で **約240分間削減**
 すべてケアプランデータ連携システムに移行できれば **3 工程削減**

取組成果 「モチベーションの変化について」

テクノロジー導入等による、職場の活気の変化



システム使用前に比べ
使用後は **職場の活気が上がった**

さまざまな情報共有をしてみて

- もともと紙で共有されていた利用者の情報・報告書などを

PDFデータでタイムリーに送ってもらえるようになった

- 紙のときより時間がかからないので、情報共有のハードルが下がる気がする

取組成果 「実際の職員の声」

使用して良かったこと、便利だと思ったこと

- 書類を持って行かなくて良いので、その分**時間削減になった**
- 実績入力の手間がなくなったので**楽になった**

取組みを振り返って

課題点

介護ソフトの不具合で、CSVファイルの「サービス種類コード」が誤って出力され、送信エラーが発生した

解決策

出力されたCSVファイルの間違ったサービス種類コードを、正しいサービス種類コードに手動修正することで無事に送れた

ケアプランデータ連携システムを实际使ってみて思ったこと

今思えば導入、活用するポイントはここだった！

自分たちだけで導入・活用しても意味がない中で、山都町全体で

一緒に導入・活用を進められたことがよかった

今後に向けて

これから導入・活用する事業所の皆さんに伝えたいこと

パソコンが苦手な方はハードル高く感じるかもしれませんが
使ってみると便利ですし、パソコンが苦手な自分でも使えたので

皆さん一度使ってみてもらうと良いかなと思います！